

広域行政の推進に向けて

道州制導入の可能性は

今回は私が興味を持ち勉強し、取り組んでいることをお伝えしたいと思います。

現在『地方分権』と呼ばれている中、三位一体改革が進められています。しかし税財源移譲を筆頭にまだまだ多くの課題が存在しております。

その地方分権の課題解決策の一つに、現在『道州制』の導入が議論されており、

皆さん『道州制』という言葉を知っていますか？

現在の都道府県は明治期において国の行政区画として設置されて以来、約120年近くにわたってその区域、構成が変わっておりません。その都道府県制度を廃止して、複数の都道府県を統合した面積規模を持つ広域行政体をつくり、自立のための権限を与える制度。

この広域行政体を『道州』と呼ぶことから、この制度のことを『道州制』(どうしゅうせい)と呼びます。

『道州制』とは何でしょうか？道州制という仕組みを簡単に説明すると、日本国内にたくさんある『政府』のようなものができるということです。

道州とは、いくつかの都道府県を合わせた規模の、広域的な地方自治体のことをいいますが、現在の『都道府県』とこの制度を比べて、全国を9〜13程度の道や州に再編するのが道州制です。そしてこの道州単位に地方自治を置き、地域のことはこの政府に任せて、より地域の特性に合わせた政策を展開できるようにしていくという制度です。

例えば、東海地方であれば、岐阜県、愛知県、三重県、静岡県の

視察実績

- 平成19年5月24日
 総務委員会県内視察(岐阜)
- 岐阜県防災航空センター
 - リフレ芥見
 - 岐阜県総合医療センター
 - 高富中学校・山県市総合運動場

- 平成19年6月7日、8日
 総務委員会県内視察(中濃北、飛騨)
- 荘川総合センター
 - 白川村総合文化交流施設
 - 飛騨の匠文化館
 - 古川土木事務所
 - JR高山本線 角川-猪谷駅間被災現場
 - 飛騨古川酵母館さくら
 - 木工芸術スクール
 - 美濃市道の駅「にわか茶屋」

- 平成19年8月2日
 総務委員会県内視察(西濃)
- 株式会社エフピコ中部リサイクル工場
 - 大垣市子育て交流プラザ
 - 野原電研株式会社
 - いび川温泉 藤橋の湯

- 平成19年8月27日
 総務委員会県内視察(中濃南、東濃)
- 国際園芸アカデミー
 - 八百津町役場
 - 有限会社 亀喜総本家
 - 農園付きコテージ
 - 恵那市中央図書館伊藤文庫
 - ガーデンパークSOGI
 - 社会就労センターけやき

- 平成19年10月30日、31日、11月1日
 総務委員会県外視察(北海道)
- むかわ町国民健康保険穂別診療所
 - JR北海道DMV推進センター
 - 倶知安町役場
 - ニセコアドベンチャーセンター
 - アグリステーションようてい
 - 北海道洞爺湖サミット主会場
 - 洞爺湖町立火山科学館

- 平成19年11月12日、13日
 地方分権・行財政改革対策特別委員会県外視察(島根県、鳥取県)
- 島根県庁舎
 - 県立古代出雲歴史博物館
 - 鳥取中部ふるさと広域連合

4県ありますが、これらを含めて『東海州』とします。そして、東海州政府で東海地方の法律や制度を決め、地域の特性を生かした政策を展開しようというものです。もちろんその場合、県は廃止されず。

戦前戦後から、この道州制という仕組みは、いろいろな組織や団体で議論されてきましたが、どうして今再度、道州制が話題になっているのでしょうか？

その理由としては、次のようなことが考えられます。

- 中央集権の行き詰まり
- 国と地方を通じて、非効率、非能率と責任の不明確さといった問題
- 多額の財政の長期財務残高を抱える下で、国と地方を通じて政治、行政の抜本的な効率化、能率化
- 都道府県間の差異が非常に大きくなってきていること
- 進む市町村合併(平成の大合併)により、平成11年3232

『道州制』導入の賛否はあると思います。しかし今後は国の仕事は国において真に果たさなければならぬことに重点化、純化し、地方に関する事は原則的に地方公共団体が担うことにしなければならぬのではないのでしょうか。現在では地域に関する仕事でも国が

● 47都道府県に密着してあり、愛着がある

● あまり区域を広げると、住民の声が届きにくい

● 手続きが複雑になり結局は何も変わらないのではないか

● 意図も出ているようです。

【道州制の考え方】



視察内容ピックアップ

株式会社エフピコ中部リサイクル工場について

本社は広島県。主な事業としてポリスチレンペーパー及びその他の合成樹脂簡易食品容器の製造・販売並びに関連包装資材等の販売を行っています。

視察内容としては、一般的に困難とされているプラスチックリサイクルの中で「トレーtoトレー」のリサイクルに取り組む企業活動を視察してまいりました。スーパーの入り口によくある、食品トレーのリサイクルです。現在は環境問題も考え積極的に行われておりますが、まだまだエネルギー、資源及び廃棄物の削減余地があり、今後も皆様の理解を一層深め実行していかなければなりません。

さらに視察後ですが、同工場内のエフピコ愛バック(岐阜工場)が昨年4月の障がい者自立支援法の施行に伴い、岐阜県内で初めての民間企業による障害者就労継続支援A型事業所を設置しました。東濃地区においても、このような環境を逸早く整えていきたいと思っております。



何でも相談コーナー

みなさんのお声を頂戴し、これからの県政にいかしたいと考えています。どんなことでもご一報ください。また、政治に興味のある20代・30代の方々のご意見もお待ちしています。暮らしやすく快適な未来のために精一杯努力していきますのでよろしくお願いいたします。



岐阜県議会議員 高木貴行事務所

多治見市滝呂町17丁目60-1

☎ 0572-45-0265

FAX 0572-45-0266

E-mail/gifu@t-takagi.jp

不在の場合がありますので、できましたらメールかFAXでご連絡をいただけるようお願いいたします。



社会就労センター けやき

隣接したグループホームとの一体的経営による一貫したケアや施設外授産の積極的展開を進めている、多治見市平和町の「社会就労センター けやき」を視察してまいりました。

施設の特徴としては、国庫補助金等の積極的活用、受注先、実習受入先の継続的開拓など民間法人として多大なる経営努力、地域における一貫したケアを実現、施設外授産(就労に向けた現場作業実習)の積極的展開など様々でした。

他地域の県議員の方々からは、この規模でこれだけしっかり運営されていることは凄いと言っておられました。今後も施設や制度の充実を推し進めていきます。

